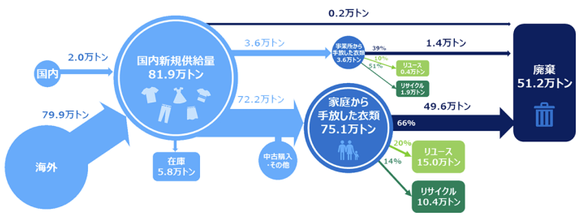
SDGs新聞	株式会社メルカリ
循環型社会の実現／気候変動への対応	

SDGsラジオを読んでみよう！

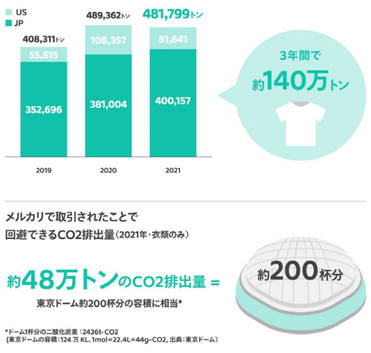
誰かにとって不要な物が、他の必要な人の元に届くフリマアプリを運営するメルカリ。フリマアプリとは、インターネット上で個人同士が、物を買ったり、売ったりできるサービスのことです。
捨てるをへらし、限りある資源を循環させ、あらゆる人が可能性を発揮できる未来を創る。
そんなメルカリの取り組みを参考に、私たちの『買う・使う・捨てる』ことに対する意識を少しずつ変化させることで、物の生産や販売のあり方が見直され、私たちの元に届く商品の流れも変わってくるのではないでしょうか。
循環型社会の実現、環境負荷の軽減、気候変動への対応……と聞くと、とても大きな目標に聞こえますが、私たちの『買う・使う・捨てる』という日常の行為が、大切な一歩になるのかもしれませんね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：環境省
SUSTAINABLE FASHIONこれからのファッションを持続可能に

年間で新たに販売・購入される衣類の量は、日本全体（2020年）で約81.9万トン。その約96%に相当する約78.7万トンが、数年のうちに手放されていると推計されています。さらにここから約51万トンが廃棄処分され、その主な方法が「焼却」であることを考えると、毎年莫大な量の二酸化炭素が排出されていることになります。地球温暖化の大きな原因になっているこの二酸化炭素の排出量を減らすためにも、「着なくなった服を『捨てる』のではなく『売る』こと」、もしくは「誰かが着なくなった服を『買う』こと」は、環境保全の観点からとてもポジティブな選択のひとつです。私たちがめざすべき「循環型社会」の実現に向けて、「捨てるを減らすこと」は今後ますます大切になってくるのではないでしょうか。



画像参照：mercari 循環型社会の実現/気候変動への対応

たくさんの人がメルカリで「衣類」を取引したことによって、2021年ではなんと約48万トン分の二酸化炭素の排出を回避することができました。これは東京ドーム約200杯分の二酸化炭素の排出量に相当します。さらに、2019年から2021年までの3年間に取引された衣類の量を合計すると約140万トンにものぼり、その数字は毎年上昇しています。また約140万トンのうち、約25万トンをアメリカ版のメルカリが占めており、この地球に優しいアクションは海を越えて拡大を続けています。

キーワード

二酸化炭素

空気中に含まれる気体の一種で、化学式ではCO2と表されます。地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」のうちの約9割をこの二酸化炭素が占め、地球環境に及ぼす影響が最も大きい気体です。

地球温暖化

温室効果ガスにより地球の気温が上昇し続け、気候や自然界のバランスが崩れる現象を「地球温暖化」と呼んでいます。

循環型社会

生態系の循環を尊重し、自然に負荷をかけない「環境に優しい社会」。具体的には、「ゴミを出さないこと」・「ゴミを資源として利用すること」・「再利用ができないゴミを適切な方法で処分すること」を徹底した社会を指します。

対象ゴール

みなさんにできること！

地球の未来のためにも、「捨てるを減らすこと」がとても大切だと、意識しながら生活しましょう。

おさらい	● 年間（2020年）で約51万トンを超える衣類が廃棄処分されている。 ● 「捨てる」を減らせば、廃棄処分により排出される二酸化炭素の削減につながる。 ● 「売る」だけでなく、「買う」ことも循環型社会の実現につながる。

メモ

SDGsラジオ